

陽宅風水術で  
人生を人勢に導く法

# 人生の

# 分岐点



Ken 高水  
*Ken Kousui*

# 『Boon-gate』のPDF作品を ご覧いただく前に…

## 操作について

- 作品の多くは「もくじ」のページで、進みたいページの項目を押せば、そのページまでジャンプし、また、ジャンプしたページのタイトルを押せば、目次のページに戻るよう設定しております。
- 直前に開いていたページに戻るには、画面上の「◀」ボタンで、直前に開いていたページに戻ります。

## 読み方いろいろ

- 通常は画面の「倍率」が100%前後になっていますが、「倍率」を150%まで高めると文字が読みやすい大きさになります。
- 通常は「見開きページ」で設定されていますが、「単一ページ」にすると読みやすく感じます。
- 読み進めるときは、「十字キー」を使用すると手軽です。
- 「サムネイル機能」を使用して読み進めると、2～3頁からとばし読みするのに便利です。
- 頁を「回転」させることが可能です。地図などを拡大して見るときに便利です。

[http://www.bungeisha.com/PDF\\_is/05-top1.html](http://www.bungeisha.com/PDF_is/05-top1.html) でPDF作品についての説明を致しております。ご参照ください。

陽宅風水術で  
人生を人勢に導く法

# 人生の

# 分岐点



Ken 高水  
*Ken Kousui*



文芸社



## まえがき

「人生は“心”と“物”が作り出す環境に支配されるもの」。そう理解してよいでしょう。人間が母親の母体から誕生し呼吸をはじめた瞬間から人生が始まります。

そして、幼年期、少年期、青年期、壮年期、中年期、老年期と段階的に人生を歩んでいくもので、これを1日に譬えて、午前、午後、夕方、夕方の人生とシヤレた言い方をすることもあります。

その成長過程での思考や行為によって、生活環境が作られ人生が描かれていきます。

この実態を距離をおいてイメージしてみると、地球という巨大なキャンパスに、人それぞれ思いと行為によって描く人生の唐草模様映るのです。

変化のない人生を表す平坦な線、また、変転を表す上下左右に描かれる曲線、始めは乱れていても、晩年には見事に立ち直って人生の向上を物語る線など、その人生の分岐点を示す模様の描線は実にさまざまであるといえます。

また、別な見方をすれば、「人生とは、地球劇場の上で演じる筋書のないドラマ」という

人だっているでしょう。それは、その人だけの「心」と「行動」を「原因」として作り出された「結果」によるものであることに間違いありません。

「人生は、まさにアートである」といったゆとり感覚で、牛革の高級セットに深々と座って人生の至福を楽しむことができれば幸せです。

ところが、現実には、ある客観的な尺度に照らし合わせてみると、世の中には「運のよい人と、悪い人」という言い方があてはまることが多いものです。

ひとつの事柄に対しても、同じ生まれ年の人間でありながら「差」が出ているのです。人間は誰だって不幸を望む者はいないでしょう。その年代や立場に応じて、今より少しでも向上し、「幸運を得たい!」という願望をもつて生きているものです。

だから学び、そして働くのです。

しかし、人間はそれぞれ幸せの尺度が違い、人格も異なるものです。

この違いは一体何が原因するのでしょうか。

当然、このような疑問も湧いてきます。

「私は運のない人間と思っている人は、本当に一生涯運に恵まれないのだろうか」  
「どうすれば幸運に恵まれるのだろうか」

そんな疑問や、「こうありたい」といった目標や願望もあるはずですよ。

正直なところ、私にも少年期から壮年期にかけては、不運のドン底生活の中でこうした不安や願望に明け暮れ、日々複雑な気持ちとの葛藤かっとうがありました。

私が本書の著述に取り組んだ理由は、先ず、古希という年齢を迎え、幸い健康な現役生活の中で人生を顧みるのに最もふさわしい時期ではないかと思っただからです。

その思いの中に、中国文明の頂点にたつ「陽宅風水術」が存在し、その論理が私の歩んできた生活環境の吉凶をあまりにも的確にとらえていたのです。こうした体験をもとに、本書が「人生を人勢に導き、幸運を呼び込むための極意として、ひとりでも多くの読者に理解が得られ、人生レベルの向上を図る参考になれば……」と思っただのです。

少々恵まれた人生だからといって自賛する訳ではないのです。それよりも自分の七十年に及ぶ人生体験を素直に表明し、みなさんのお役に立てるなら、私は、それが何より嬉しいことであると思っただのです。

そのため、あえて自分の過去の人生が「なぜそうだったのか」そして「なぜ変わったのか」といった経緯を回顧し、さらに現職を通じてそれを再確認しながら得た経験を、素直にさらけ出して題材にしたのです。

決して自慢したいための著述や、その論理や秘法を強制するものでもありません。

ただ強い言えば、幸せになるための「心情」を説いた人生本は数多く出版されています。

すが、私の場合はいくら理想的な心情を持っていても、それだけでは幸運を呼び込むことはできないということです。

私は、心情の他に「物象」、つまり、生活にかかわっている「物」や「場」による影響を無視して幸運を得ることはできない——。

そう確信しているのです。

「心」と「物」と「身体」との相互バランスや相性の吉凶が私たちの人生に大きく影響していることを、自らの体験と学習から知り得たことを原稿にまとめたのです。また、それを話すことがいちばん説得力があるのではないかと思っただけです。

本書が、読者の方々の「幸運」を繋ぐ知的行為を呼び起こすきっかけとなって、「人生を人勢」に導く起爆剤となれば、これに過ぎる喜びはありません。

Ken 高水

## 第1章 「心」と人生

人間の幸せは「心」と「物」に支配される	12
苦境時には心を逆転思考に	14
人生前半のつまずきは問題ではない	17
人生にはそれなりのルールがある	20
人間は生きていてこそ幸せが掴める	23
人生には時々反省と切り換えが必要	26
ヤル気心で光明が見いだせる	29
マイナスチェックが運氣に繋がる	33
情熱と競争意識が人生を変える	35

人生は環境と試練によって変わる 38

これからの人生に必要なのは生き抜くためのアイデアである 41

心の会話が苦手な人は物で勝負せよ 44

「特技は宝」下ネタの歌でも人生の流れを変える 47

実力の中に必ずしも「運」はない 51

9 + 1の人生より1 + 9の人生に乾杯 55

## 第2章 「物」と人生

お金と人生「黄色」との関係を探る 60

即席でお金は貯められない 64

「衝動的発想」では幸運は掴めない 65

「物」や「色」にはエネルギーがある 68

運気は自衣食住心との「相性」で決まる 70

幸せの原点は健康である 71

人体から発するエネルギー 73

人生において最高の「物」は住宅である 76

「物」との相性バランスが人生を左右する 79

凶宅がもたらした不幸の体験 82

凶宅にならないための着目点 85

なぜ「陽宅風水術」なのか 93

家に集団する人生にかかわる「物」とは 96

### 第3章 これて人生の方向づけができる

運氣のメカニズム 144

人生にかかわる住宅のポイントとは 146

増改築の着目点と新旧情報伝達的作用 153

間取りとインテリアの着目点 157

運は自分で掴むもの他力本願は当てにならない 177

「気は心」でありエネルギーである 180

住宅ローンの風水心理解消法 181

今をどう生きるか 183

冥土めいどの道も「金」次第か 187

埋葬に対する風水思考 190

人生は環境に始まり環境に終わる 192

「本命卦」であなたの人生の方向を知る 194

あとがき 199

## 第 1 章

# 「心」と人生

消極的な「心」が支配する思考は自己改革のブレーキとなり、豊かな人生レベルに到達することを妨げる。

## 人間の幸せは「心」と「物」に支配される

人間は、生まれて来る場所を自分で選ぶことができなければ、死ぬることも分からないのです。

分かることは母体から生まれ、そして死ぬまでの時間です。この生きている時間内に、「人間としてどう生きるか」、その経緯と価値観が人生なのです。

確かに、生まれる場所を自分で選択することはできない。それは、ひとつの“定め”です。しかし、人間は遺伝子や生活環境によって人生がプログラムされ、生まれてからは自分の意思によって変えることができるのです。

つまり、今からの時間の「存在」を証し、人生を自分でプログラムすることが可能であるということです。

世の中の仕組は、個人―家（家族）―社会（学校、職場）―国家―世界であり、人、物、場が公私にわたって深くかかわっています。

その環境形態の中での生活が問題なのです。

好むと好まざるとにかかわらず、こうした環境に対応しながら“幸運”を求めて生きよ

うとする生命体、これが人間なのです。

残念ながら最近は何事に対する吉凶、善悪、常識・非常識を見極める良心の忘却と欠如が憂慮される社会になってきています。

一方では科学万能時代に伴い、人間生活において身体に何らかの空洞化を感じているのは私だけではないでしょう。

こうした社会環境にあっても、誰もが「幸せ」を願う気持ちは昔と変わらないはずですが、だから働き、また、運を気にするのは。

黄色い財布や置物を買って大金を夢見たり、縁起をかついでほとんど根拠曖昧あいまいな書籍や商品を買って求めるのも、幸運を得るための方法を探している証拠といえるでしょう。

人生を豊かにする方法を論じた書籍も最近熱い注目を集めています。

しかし、その多くは人間の「心情」を説いたものです。

なるほど幸せは人間の「心」から生まれるエネルギーが強力な要素になることは確かです。

だからといって、心が幸運のすべてを支配するとは言いきれないと思うのです。

本書の主旨は、「人や物、形や色などの物質自体からのエネルギー、そして、それらの物質が組み合わされた環境から発する目に見えないエネルギーが、そこに住む人の心理面や肉

体面に作用し、幸運を司る「健康」に影響を及ぼして、「人生までも左右する」という考え方に立っているのです。

この「心」と「環境」との両方が相性よく調和してこそ、真の幸運を呼び込むことができると思います。

### 苦境時には心を逆転思考に

「人間が苦悩に直面した時、あなたは どうしますか」。大脳生理学の立証する手段は「気持ちの逆発想」だそうです。

ダメだといってクヨクヨ悩んでいてもどうにもなるものではないのです。物事は悪く考えればどんどん泥沼に入っていくものです。

「自分はツキがない」とか「運に恵まれない」などのピンチに直面した時の解決法は、ズバリ「思考の切りかえ」です。

つまり、物事を「良いほう」に考える「プラス思考」に切り換えるクセをつけることを心掛けるべきです。

何でもよい、自分にとって「楽しいこと」、「心を癒す<sup>いゃ</sup>」ものを見つけることです。

急変する現代社会は春や秋の天気のようなもので、「様変わり」が激しいもの。いつスランプや危機に直面するか全く予想がつかないのです。

また、実際にはそれほどでもない問題に対して、現実よりも深刻に考え過ぎて、自分自身を自ら苦境に落とし込む場合もあります。私は、どちらかと言えばこのタイプに近いほうです。

しかし、私の場合もいろいろ考えるほうですが、内容によって早目に気持ちを変えるよう心掛けています。従って身体に与えるダメージも少ないし、別の名案すら生まれることだってあるのです。

逆に深く考え込んでしまうと、そのダメージからなかなか脱却することができないもので、病気になるってしまうことだってあります。

与えられた境遇をあまり明暗だけで区別し過ぎると、深刻になってしまいます。「暗」と感じるものは、とかく自分の意思によって「明」の要素をプラスすることです。

この逆発想を組み込んでいくことで「プラス思考」に切り換えることができます。

人間の性格が向上したり、変化したりするのは、家庭―学校―職場から、友人、知人、そして、実社会といった環境に支配されることが多いものです。

# 途中省略

本編はダウンロード時間短縮のため省略版でお届けしています。

途中省略なしの完全版をご希望の方は製品版をご「購読」ください。

## 著者プロフィール

### Ken 高水 (けん こうすい)

本名 高橋 毅

1932年広島県に生まれる。

19年余のサラリーマン生活、当時大手シューズメーカーで技術部に属し主に新製品の開発研究業務に従事。

(在任中、全商連主催のシューズコンテストで通産大臣賞を始め、数回のグッドデザイン賞を受賞)。製品設計課長を経て建築業界に入る。

独学で建築設計、インテリアデザインを学び、国家資格取得後会社設立。代表取締役役に就任し、27年間約1,000件の物件を手掛ける。

しかし、通常の設計概念に疑問をもち「陽宅風水学」を紐解く。名士の知遇を得て実践研究に没頭。後に会社経営を退き習得した建築技術に陽宅風水術の理念を活用した「住環境デザイン」研究所を設立し現在に至る。

一般の住環境診断アドバイスを始め、住宅金融公庫、大手ハウスメーカー、企業団体などでのセミナー講師、コラムの執筆、ラジオ風水学などで活動中。

著書に「運をつかむ住まいと生活の知恵」(東京図書出版会)がある。



## 人生の分岐点 陽宅風水術で人生を人勢に導く法

---

2003年8月15日 電子出版発行

著者 Ken 高水

発行者 瓜谷 綱延

発行所 株式会社 文芸社

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-1

電話 03-5369-3060 (編集)

03-5369-2299 (営業)

<http://www.boon-gate.com>

© Ken Kousui 2003. Corded in Japan.

ISBN4-8355-5975-4 C0095

(文芸社発行の通常書籍(紙の本)については、全国書店でお尋ねいただくか、「文芸社ON-LINE」サイト <http://www.bungeisha.co.jp> を御参照ください。)